

(様式4)

令和4年度 健やか親子特別委員会 事業報告

1. 活動テーマ

地域における母子保健活動の質の向上を目指す

2. 目的

これまでの活動を振り返り、課題を抽出し、今後の方向性を検討する

3. 実施状況

回	時 期	場 所	内 容
1	5月29日	東京文化会館（上野）	【第1回委員会】 令和4年度活動計画 令和4年度予算執行計画
2	6月～7月	メール協議	これまでの活動内容について資料読み込み
3	8月28日	Web会議（Zoom）	【第2回委員会】 読み込み資料についての意見交換、調査研究協力報告、意見交換会内容確認
4	10月9日	東京文化会館（上野）	【第3回委員会】 【意見交換会】 戸矢崎総務を囲み、活動の振り返りと意見交換
5	11月	メール協議	課題の抽出 今後の方向性の検討
6	12月18日	Web会議（Zoom）	【第4回委員会】 課題の洗い出しと方向性について検討 第3回定例会の振り返り 今後の活動と国家要望についての意見交換 関係団体への協力事業の進捗共有
7	1月	メール協議	国家要望意見調査票の意見照会 参考資料読み込み
8	2月12日	Web会議（Zoom）	【第5回委員会】 常任理事会報告 活動の振り返りまとめ 関係団体への協力事業の進捗共有

9	3月12日	Web会議 (Zoom)	【第6回委員会】 次年度の活動内容検討
---	-------	--------------	------------------------

4. 結果・課題

これまでの活動の振り返りとして、母子保健関係施策や法改正の動向と、健やか親子特別委員会の活動を照らし合わせながら、保健活動の推進に関する要望書、保健師活動指針、子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について(第18次報告)、日本看護協会の手引き等を読み込み、母子保健の現状と課題、今後の方向性について検討を行った。

振り返りでは、母子保健に関する自治体の組織形態や県型保健所の市町村支援の状況把握、乳幼児健診の問診項目や要支援妊婦についての調査等の取り組みにより、母子保健のスキルやノウハウの質の変化を感じ取りながら、国の動きや時代のトレンドに合わせて活動してきたことを確認することができた。

母子保健は、生涯を通じた健康の出発点であり、昭和の時代から変わらずに、たゆみなく、網目のように取り込まれてきており、プレコンセプションケアや思春期保健等のニーズも高まっている。

改正児童福祉法に伴うこども家庭センターの設置に向けて、予防的視点やポピュレーションアプローチなどの母子保健の強みが他の部署から理解を得られることが重要であることから、次年度は保健師の母子保健活動の意義が若手保健師や他職種に伝わるよう、可視化して発信していきたい。

5. 支部活動の特徴

- ・厚生労働科学研究費補助金(免疫・アレルギー疾患政策研究事業)「アレルギー疾患患者(乳幼児～成人)のアンメットニーズとその解決法の可視化に関する研究」への協力
- ・「母子健康手帳、母子保健情報等に関する検討会」への協力
- ・厚生労働省子ども・子育て支援推進調査研究事業「児童相談所や一時保護所等における保健師の効果的な活用に関する調査研究」に委員として参加
- ・「NIPT等の出生前検査に関する専門委員会」、「出生前検査認証制度等運営委員会」に委員として、「情報提供ワーキンググループ」に構成員として参加

6. 委員・支部長 氏名 所属

- 三 橋 静 香 横浜市こども青少年局こども福祉保健部こどもの権利擁護課
児童虐待・DV対策係長
- 星 野 典 子 栃木県北健康福祉センター地域保健部健康支援課部長補佐兼課長
- 石 田 淳 子 府中市子ども家庭部こども家庭支援課長
- 田 辺 香 苗 川口市保健所地域保健センター課長補佐兼母子保健係長
- 久 保 昌 代 茨城県鉾田市福祉保健部健康増進課技査
- 堀 優 子 北九州市子ども家庭局子育て支援部子育て支援課母子保健係長

責任者○印